東日本大震災・原発事故からの

復興状況と町の現状



福島県富岡町



町の概要

~花と緑に抱かれたまち~

目然豊かな町

富岡町は、福島県浜通り地方の中央に位置し、太平洋と阿武隈山地との間に広がる 面積68.47km、人口16,000人の町です。

町の二分して太平洋に注ぐ富岡川や阿武隈山地を流れる滝川渓谷、大倉山、麓山などの山々、断崖絶壁の海岸線、離れ島が散在する浜辺など豊かな自然に恵まれ、 年間降水量1,531mm/年間平均気温12.8℃と四季を通じてすごしやすい温暖な地です。



町の木【サクラ】

明治33年、夜の森が開拓された際に植えられた 桜が今では町のシンボルとなりました。 毎年開花と同時に見物客で賑わいます。



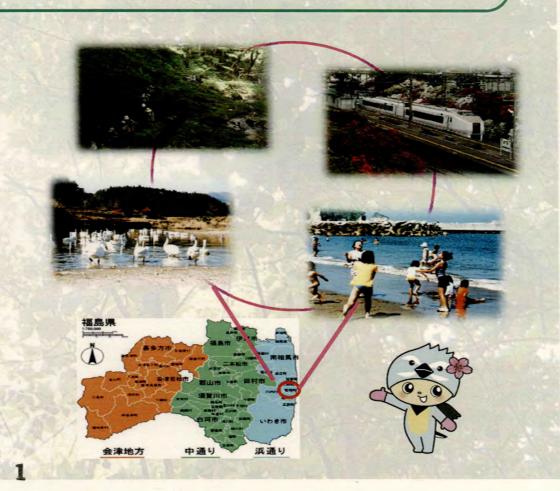
町の花【ツツジ】

全国花いっぱい「花と緑の駅」コンクールで 日本一に輝いたJR常磐線夜ノ森駅のツツジは、 旅人の目を楽しませます。



町の鳥【セキレイ】

水辺に生息するセキレイは、富岡川の清らか な流れとチチチッと爽やかなさえずりが人々の 心をなごませます。





昔から今、発展までの軌跡

~魅力と利便性を兼ね備えた『浜通りの中間拠点』へ~



江戸

●関ヶ原の合戦後、外様大名 伊達家をにらむ徳川譜代の最前線地帯。

明治

●明治初年、金納徴税の拠点である『税務署』が、相馬、平、富岡町に配置。 その後、国県などの行政機関が続々と集積し、併せて、交通網も整備。



昭和

●郡内有数の観光イベント

夜の森さくら祭り 約10万人 秋の祭事 えびす講市

平成

福島県内でも数少ない 人口増加自治体へ

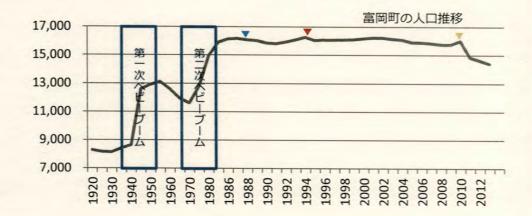


【主な人口推移】

▶1987年 16,172人(福島第二原発 運転開始)

▶1994年 16,266人 (最大値)

▶2010年 16,001人 (新宅地造成により前年より246人増)



充実した都市機能の町

- ○国機関 → 裁判所、労基署、職安、営林署
- ○県機関 → 富岡土木事務所(前身は明治の郡役所)、原子力立地振興事務所
- ○警察署 → 双葉警察署(H22富岡·浪江警察署統合)
- ○金 融 → 6行7店(東邦、福銀、大東、労金、あぶくま信金、相双信組)
- ○医療 → 初期救急医療 今村病院 と 6医院(内科、外科、整形外科、眼科)
- ○郵便局 → 3局
- ○商業 → ベニマル2店舗、家電量販店、ホームセンター、ドラッグストア
- ○電気等 東京電力(株)浜通り電力所、(株)東北電力、NTT等の支店
- ○教育 → 小中学校4校 と "双葉地区教育構想"

人々が往来する町

南北系

○JR常磐線(富岡駅、夜ノ森駅) 郡内で最も多い乗降者数

(H22年間約30万人)

○常盤富岡I.C 再開通 (H26.02.22)、全線開通 (H27.03.01)

東西系

○県道 小野・富岡線 ※川内村との強い結びつき

町を代表する写真





















東日本大震災と原発災害

~町内では「震度6強地震」と「21.1m津波」と「原発事故」~

地震・津波・原発事故

複合災害

H23.03.11 14:46 東北地方太平洋沖地震

国内観測史上最大 **M9.0**

15:30 第1波、第2波

【1度目の避難】町内の集会所や体育館に避難

19:03 福島第一原発で原子力緊急事態宣言発令

03.12 5:32 福島第一原発から半径10㎞圏内に避難指示発令

福島第一原発1号機で水素爆発

【2度目の避難】 町の西隣 川内村へ避難

03.14 11:01 福島第一原発3号機で水素爆発

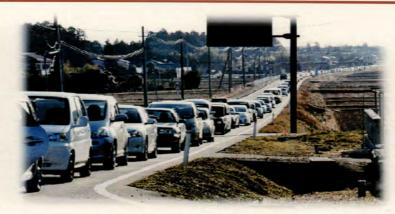
03.16 川内村から郡山市 (ビッグパレットふくしま) に

【3度目の避難】 郡山市へ避難



15:36

大津波の直撃を受けた富岡駅前周辺 (H23.03.11)

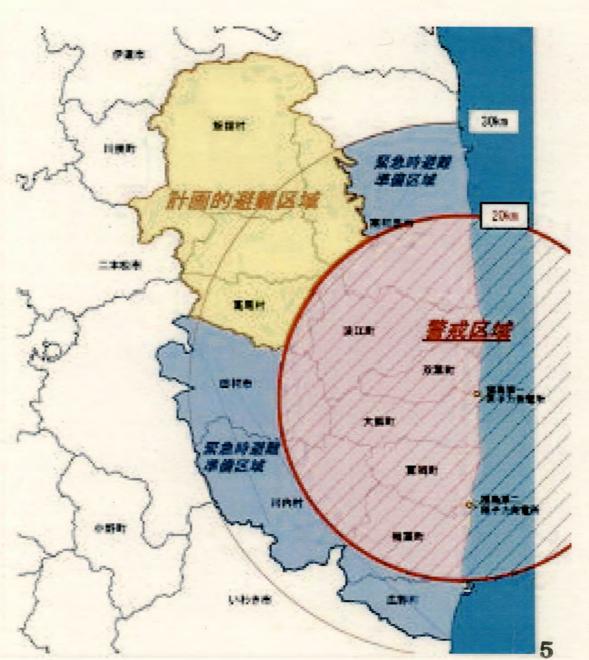


避難先を目指す車の列 (H23.03.12)



約3,000人が避難したビッグパレットふくしま (H23.03.16~08.31)

屋内退避・避難指示から警戒区域の設定へ



H23.03.11

19:03 原子力緊急事態宣言発

21:23 半径10km圏 屋内退避指示

H23.03.12

5:32 **半径10**㎞**圏内** 避難指示

15:36 福島第一原発1号機水素爆発

18:25 **半径20**km**圏内** 避難指示

H23.03.14

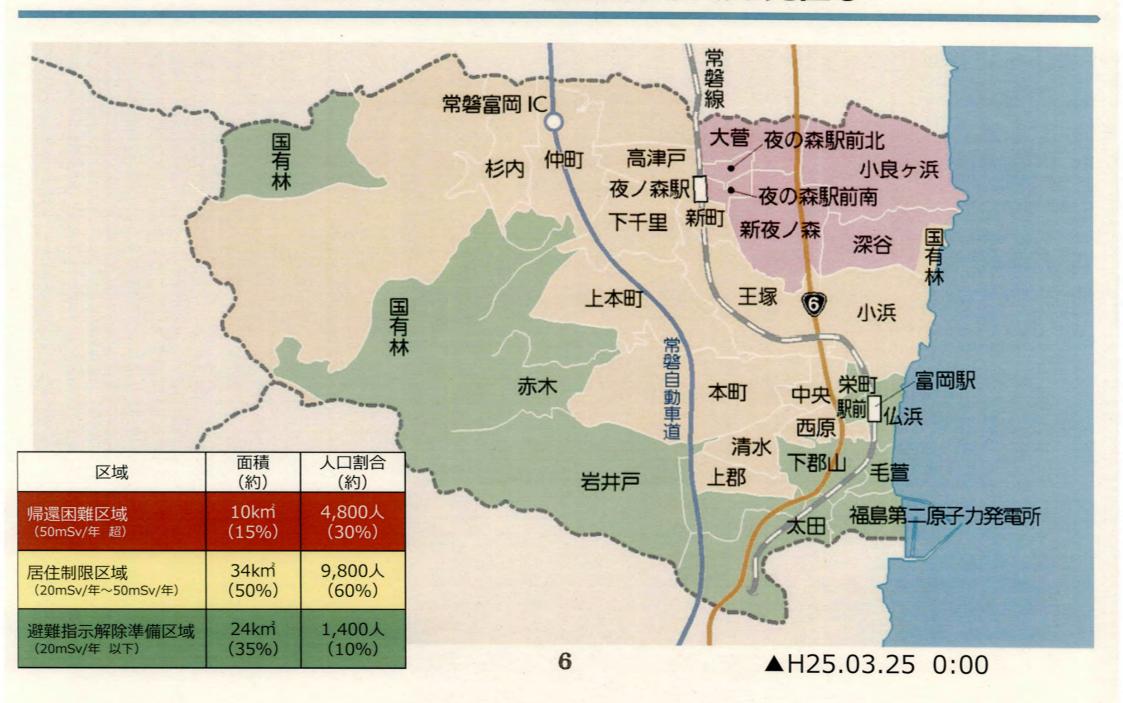
11:01 福島第一原発3号機水素爆発

H23.04.22

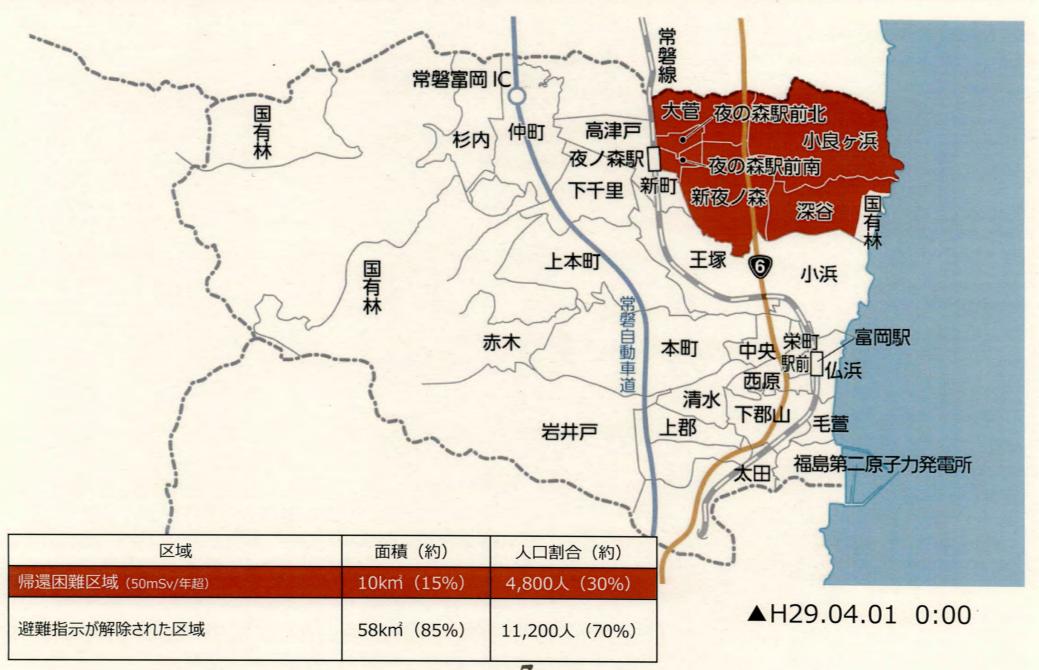
半径20㎞圏内 警戒区域

(富岡町全域)

警戒区域の解除・避難指示区域の見直し



一部(帰還困難区域)を除き、避難指示解除



震災による被害状況





H29.09.01現在

- ●震災による死亡者 24人 ※行方不明者6人含む
- ●避難中の災害関連死 397人

災害と死亡の関連の判断は

双葉地方災害弔慰金支給審査会委員会が認定



- 家屋一次被害調査(外観調査)
 - 二次被害調査 (内部調査)
 - 三次被害調査 (二次再調査)
- ●二次被害調査(外観調査+内観調査)
 - 一次調査結果を受けた再調査の依頼に伴う調査
- ●三次被害調査
 - 二次調査結果を受けた再調査の依頼に伴う調査

(H29.09.01現在) ▶全壊(50%以上) 409棟

▶大規模半壊(40~49%) 850棟

▶半壊(20~39%) 2,255棟

▶一部損壊(20%未満) 2,077棟

▶損壊無し▶合計259棟**5,850棟**

"超"長期避難の影響

- ○家屋を修繕する作業員や資材の不足
- ○鳥獣・小動物による被害が続出
- ○窃盗・盗難事件等の発生
- ○長期管理困難に伴う**家屋荒廃**





一部損壊と判定された家屋の内部

町内立入の制限や長期間におよぶ避難により、家屋の修理・管理ができず、荒廃が進行



【家屋解体について】

(H29.09.01現在)

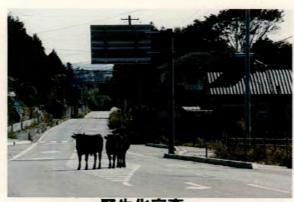
- ◆受付受理件数…2,290件
- ◆解体済家屋数…1,580件
- ◆進 捗 率……69.0%

8

震災・長期避難による影響



一時帰宅中継基地



野生化家畜



市街地出没イノシシ



富岡第一小学校前(発災1年経過)



JR宮岡駅



イノシシ被害(庭木) 9



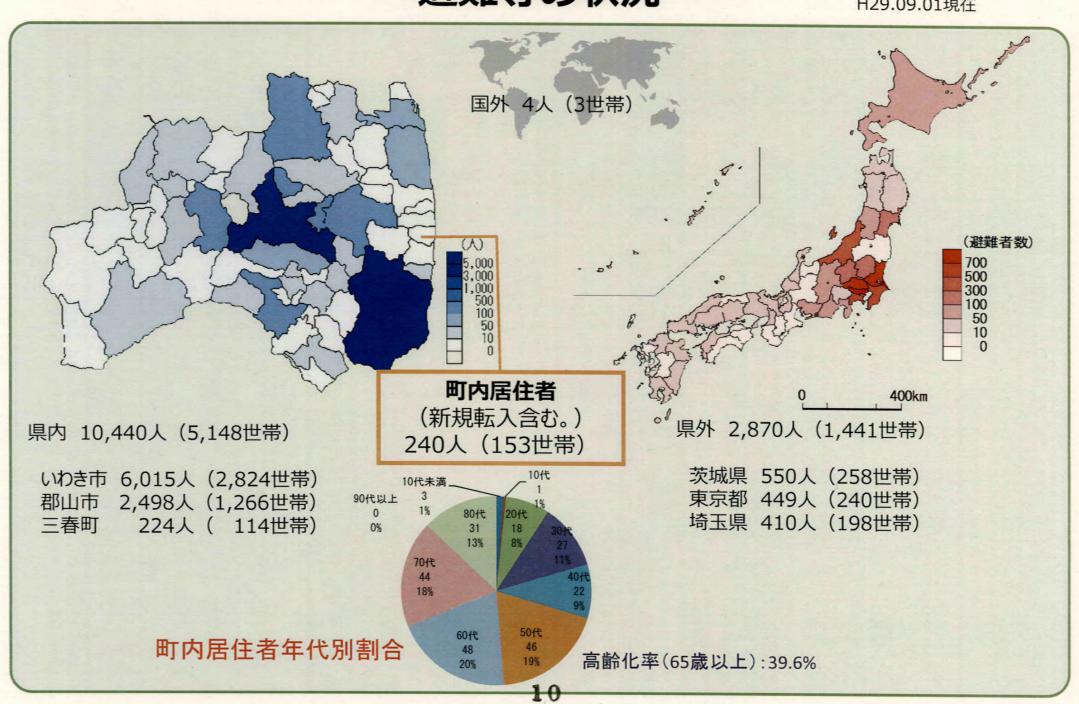


荒廃農地





壊滅した富岡漁港







災害復興計画(第二次)の策定

~町が進むべき方向性を示す~



H27.06策定

基本姿勢

どの道を選んでも、ふるさとに誇りを感じ 富岡のつながりを保ち続けられる町 これからも加わる仲間も



居心地よく親しめる地域をめざして

【第二次復興計画の概要】

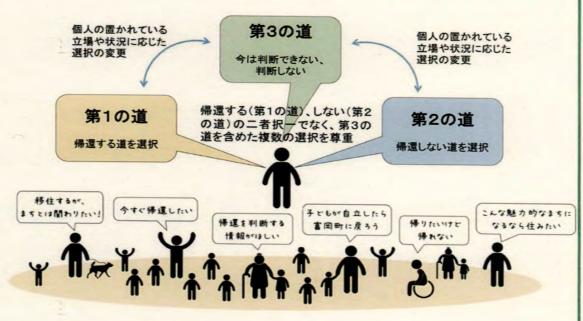
富岡町災害復興計画の策定においては、平成26年8月から約10カ月間にわたって、町民と職員で構成された検討委員会が課題や解決アイデアなどを立案し、それを国・県・有識者と町職員からなる政策化会議が補完サポートする体制で実施されました。

町民にとっての「生活再建」と「帰還」、 あるいは「町との関わり方」はそれぞれの 立場や家族の状況などによって大きく異なり ます。

帰還する【第1の道】・しない【第2の道】 の二者択一ではなく、

今は判断できない(しない)【第3の道】を 含めたあらゆる町民の意向を尊重します。

また、町民と町との関わりの継続や将来 帰還、さらには新たな住民も含め、 魅力あるまちづくりを進めていきます。



各種アクションプラン(行動計画)等の策定

平成24年

1月 富岡町災害復興ビジョン

9月 富岡町災害復興計画(第一次)

平成26年

3月 富岡町まちづくり計画

平成27年

6月 富岡町災害復興計画(第二次)

9月 富岡町再生・発展の先駆けアクションプラン

~復興拠点整備計画~

平成28年

3月 富岡町帰町計画

富岡町保健・福祉アクションプラン

9月 富岡町地域防災計画

10月 人と町とのつながりアクションプラン

平成29年

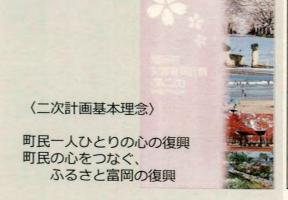
2月 農業アクションプラン

※以下、予定 平成29年内

平成29年内 富岡町帰還困難区域再生ビジョン 駅前にぎわいアクションプラン

平成30年

3月 富岡町帰還困難区域再生計画 (仮称) 復旧状態を踏まえ、復興の考え方や方向性などを見直し





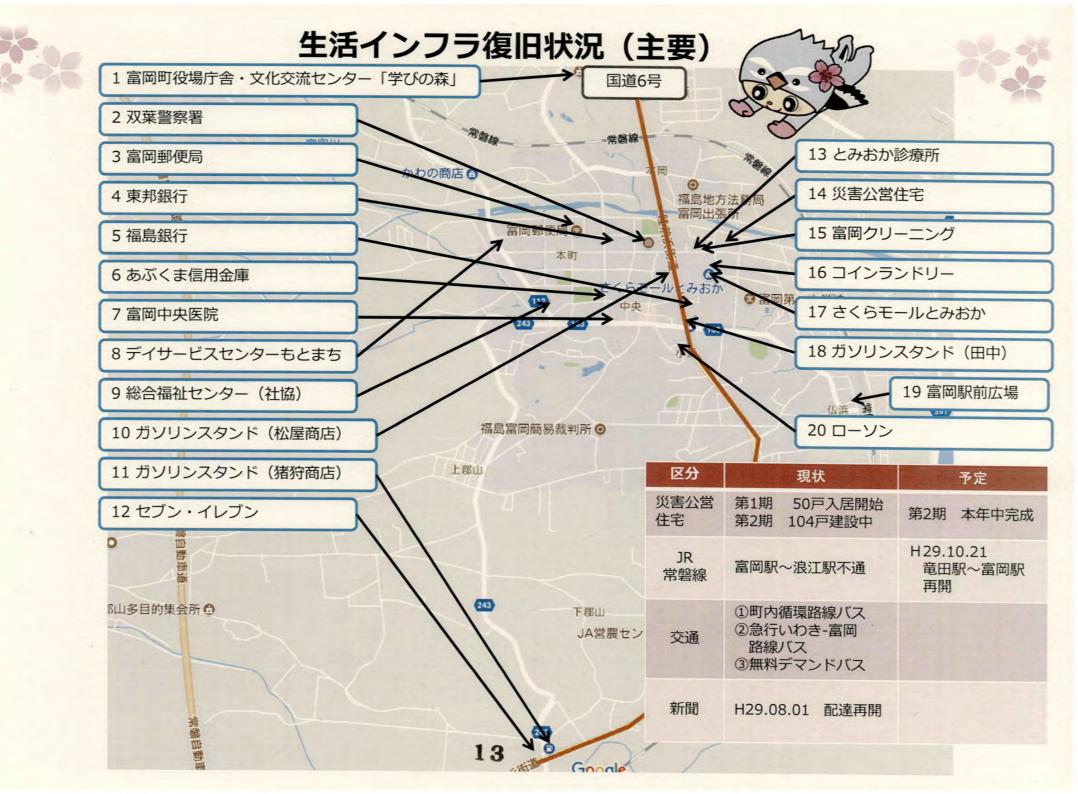
二次計画 実行計画









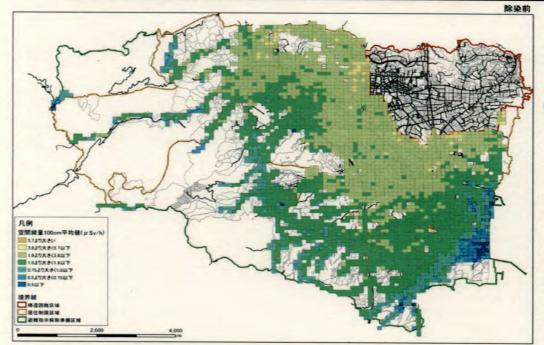


産業再生計画状況 (主要)

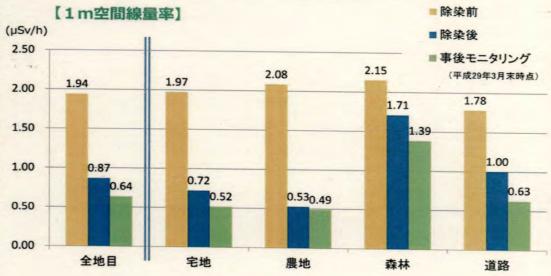


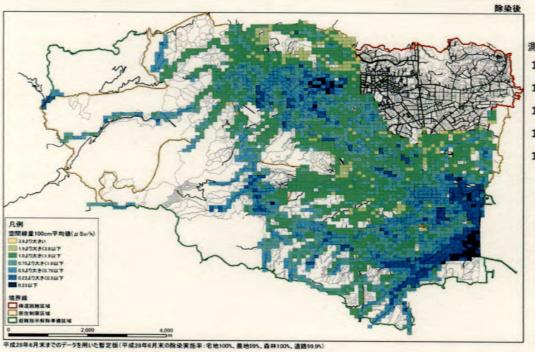
町内における空間線量率の推移

富岡町における除染の取り組みについて (H29.05.23 環境省 福島環境再生事務所)より抜粋

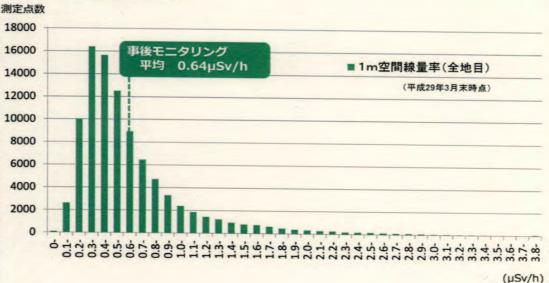


平成29年1月以降、一部宅地について事後モニタリングの再測定を実施。 宅地では1m空間線量率が1.97µSv/hから0.52µSv/hに低減(低減率74%) ※事後モニタリング測定後にフォローアップ除染を実施した宅地等について再測定を実施





【1m空間線量率】



避難生活の支援



町外生活サポート

郡山市・いわき市の役場事務所を拠点として、 みなさんの生活に寄り添います。

町外生活の総合サポート



町外での窓口業務をはじめ、コミュニティ、住まい、生業、よりそい(見守り・ 健康づくり・子育て)など、町外での生活を総合的にサポートします。

町外サポート体制のイメージ

郡山、いわきを核とする町外の役場事務所は継続します。

各種証明書のコンピニ交付システム

個人番号(マイナンバー)カードをお持 ちの方は、全国各地ほとんどのコンビ で富岡町の証明書が取得できます。

[町に住民登録をしている方]

- 的循發銀証明書

[町以外に住民登録をしている方]

●戸館謄本・抄本(H29.4~)

戸籍·住民票等証明発行 各種稅金關係証明 · 相談 マイナンバーカード申請・発行 福祉·介護申請·相談 国民年金関係手続き 国民健康保険・



県外避難者支援拠点事務所

- 訪問や電話による相談対応や交流会などのイベント開催
- ※ 富岡町県外避難者支援拠点事務所(H28.10現在) 埼玉県さいたま市浦和区常磐6-4-21 ときわ会館4F 月~金曜日 9:00~17:30

県外避難者支援拠点事務所

生活再建支援拠点

- ●全国25か所に支援拠点を設置
- 対面及び電話での相談対応や、相談 会・交流会・説明会の開催

コミュニティ

交流しやすい環境づくりや自治会等の活動支援で「集い」と「きずな」を保ちます。

町民等コミュニティ の形成、会議、趣味 などの集まりの場と して、県内5ヶ所に 交流サロンを設置し ております。







「広域コミュニティ推進団 体」として町に登録した10 世帯以上で構成する団体

構成する世帯数に応じて



花いっぱい運動



いわきおどり

ふれあい町民号の再開

- ○町民同士の再会、ふるさととのつながりの維持を 目的に実施
- ○平成17年度をもって休止
- ○本年度再開(11/4-5)

ふたばワールドの開催

- ○平成25年度から再開
- ○平成29年度は富岡町で開催
- ○9/30、一小・一中



避難先地域住民との ネットワークづくり のための交流会等、 町民のコミュニティ 形成及び避難生活支 援活動を行っていま

県外に避難してい

る町民の戸別訪問や

町からの情報発信

|||| 富同とつながる"ふるさと"づくり

ふるさとへの 関心



あらゆる人々が、「富岡はおもしろい」、「富岡をもっと知りたい」と思えるよう な町の魅力を発信します。

魅力発信ツール

誰もが、より身近に富岡を感じられるよう、ニーズに合わせた情報取得の環境づくりと話題の提供に努めます。



みんな見てっぴ♪





富岡町公式Facebook





とみっぴーFacebook





富岡町公式チャンネル

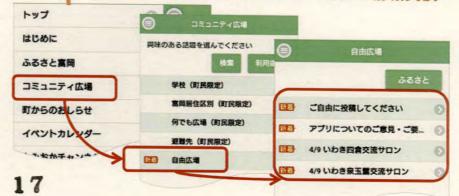


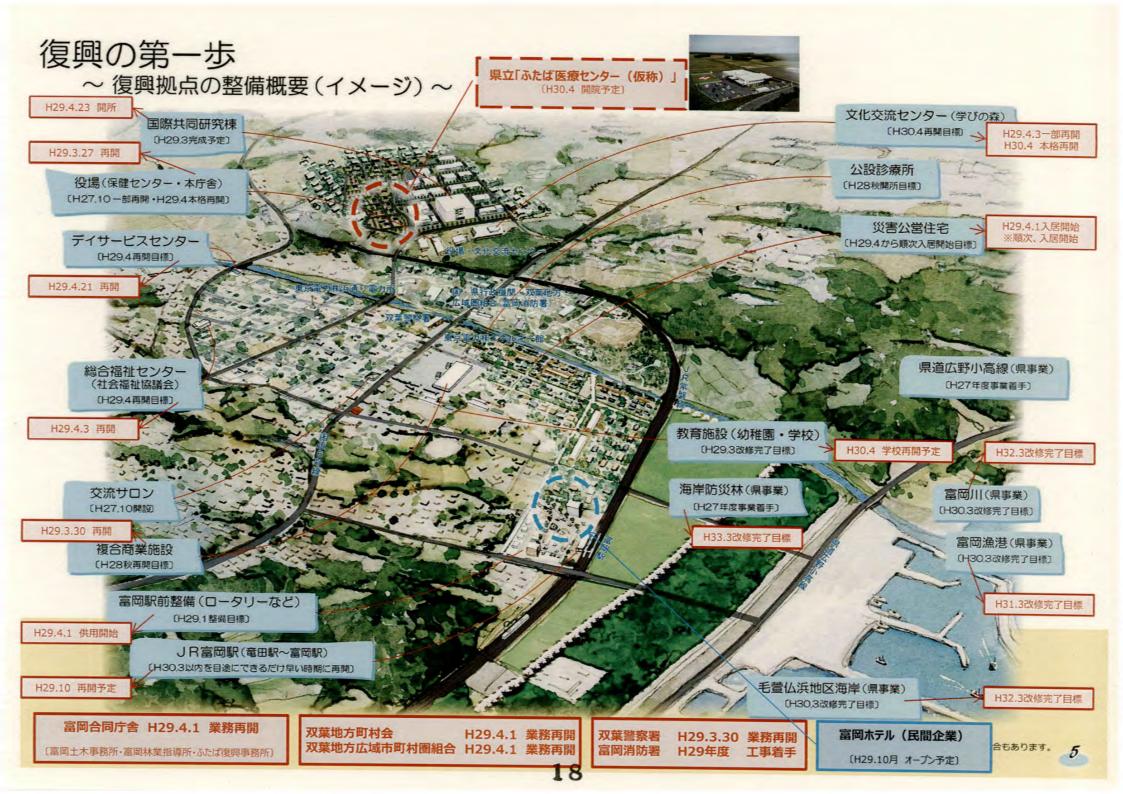


お持ちのスマホやタブレットでダウンロードしてお使いください

とみおかアプリ

『コミュニティ広場』で利用者同士で自由な情報交換





0

未来へと つながれ ひろがれ 富岡町



















町内視察ルート



帰還困難区域の現状 (国道6号以西)



夜の森保育所

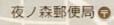


リフレ富岡



夜ノ森駅前





夜の森





桜



ヨークベニマル



つつみ公園



自動車学校





畜産農業協同組合

国道6号

